

「エコシティたかつ」推進フォーラム ～たかつでつながる・生きものの輪と防災まちづくり～

・学校ピオトブ交流会

区内の小学校児童による学校ピオトブを活用した学習の成果を発表していただきました。

発表及び資料提供校：
梶ヶ谷小学校、下作延小学校、
未長小学校、高津小学校、橋小学校、
南原小学校、久本小学校(50音順)



・講演会 「東日本大震災からの復興まちづくり～大船渡市綾里地区の支援を中心に～」

「エコシティたかつ」の根底にある大地の凸凹を踏まえた復興まちづくりの実践について、首都大学東京の饗庭准教授にご講演いただきました。



...わたしと地球をつなぐ街...

エコシティたかつ

普及啓発、イベント

たかつエコ・エナライフコンクール 2012

高津区民会議・協賛企業の協力のもと、緑のカーテンにかかる講演会やその取組み、またオリジナルのエコロジーなレシピの表彰を行いました。



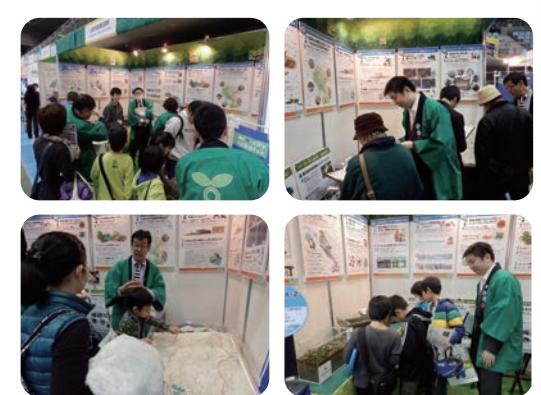
大山街道を冷やせ!!! 「エコシティたかつ」打ち水大作戦

第39回高津区民祭当日に大山街道にて市民協働で、打ち水を行いました。



川崎国際環境技術展

区役所内の若手職員を中心とした「高津区タウンセールス推進プロジェクト」の企画で、「たかつの自然の賑わいづくり」事業を中心に、3回目の出展をしました。



推進事業 2012年度

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、自然の賑わいとともにある持続可能な循環型都市構造の再生と創造
100年後のたかつのまちのために

「エコシティたかつ」の基本目標

緩和策 低炭素・省資源社会の実現

私たち一人ひとりが身近なアクションをおこし、地域/地球の二酸化炭素の削減につなげ、資源を有効に活用します。

自然の賑わい・生物多様性 自然共生型都市再生の推進

丘陵などランドスケープを重視した、生命(いのち)の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を地域から推進します。

適応策 地域に即した防災まちづくりの推進

深刻化する局地的な豪雨や洪水、湯水に対し、流域の水循環に即した“水災害適応型都市”づくりを推進します。

“流域”とは、降った雨が集まる、大地の範囲・領域のことです。



自然の賑わい・生物多様性とは

池や湿地、森など多様な生態系に、たくさんの生きものが相互に関連しながら生息している状態のことです。



みんなで進めよう! 「エコシティたかつ」

「エコシティたかつ」は、高津区で生活し、学び、働き、活動する私たちが、それぞれの立場でできることを行い、相互に響き、支えあうことで、大きな推進力が得られます。

「エコシティたかつ」の各プロジェクトでは、支援ボランティア、参加者、協力者の募集を随時おこなっています。メールアドレスをご登録いただいた方には、イベント情報やボランティア情報などをお知らせします。一緒に「エコシティたかつ」の活動を進めませんか。

詳しくは右記の連絡先にお問い合わせください。



連絡先:

川崎市高津区役所
企画課/地域振興課

電話: 044-861-3131 / FAX: 044-861-3103
メールアドレス: 67kikaku@city.kawasaki.jp
67tisin@city.kawasaki.jp



エコシティたかつ

「エコシティたかつ」協賛・協力企業

アサヒ飲料株式会社、アサヒビール株式会社、NEC インフロンティア株式会社、エリーパワー株式会社、株式会社ケイエスピー、株式会社近藤工芸、シブスレインワールド株式会社、JAセレス川崎、城南信用金庫、株式会社スタジオフェイク、株式会社タウンニュース社、東興資材工業株式会社、日本理化学工業株式会社、株式会社フロンターレ、株式会社丸井、みぞのくち新都株式会社、株式会社みつや園、地域貢献建設会ロコビルダー(敬称略、五十音順)

「エコシティたかつ」推進事業2012年度報告書概要版
発効日: 2013年3月
発行者: 川崎市/「エコシティたかつ」推進会議
事務局: 川崎市高津区役所
編集協力: NPO法人まちづくり情報センターかながわ
デザイン: 有限会社 tt-unit



学校流域プロジェクト

学校にビオトープ(池や草原、林など)や雨水利用施設を整備し、生きものや水循環について子どもたちが学ぶ場を作るプロジェクトです。

ビオトープ整備と環境学習支援

2009、2010年度で6校、2011年度で7校の整備をし、2012年度で1校の整備を進め、区内の小学校15校中14校の整備を終えました。区内の小学校で環境学習支援を実施しました。



「たかつの自然の賑わいづくり」事業

専門家と一緒に、水・緑・生きもの調査(外来植物や外来生きもの探しも含む)を行い、さまざまな活動を通して、地球温暖化適応策・生物多様性保全への貢献を市民協働で行うプロジェクトです。

川崎市立緑ヶ丘霊園を舞台として調査と作業をモデル実施

川崎市立緑ヶ丘霊園内の森の状態を確認しました。アオキ、シロダモといった常緑樹により太陽の光が遮られ、暗くなり、土壌侵食も起きつつある森の状態の把握や、遊水地に住む生きもの調査を行い、要注意外来生物に指定されているトキワツクサの除去もを行いました。



橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進

ファーマーズマーケット(高津さんの市)の開催・定着化

農業体験、援農イベントの実施

農産物、特産品の紹介販売を実施

地域交流拠点との連携



区役所の緑化等、環境技術導入によるエコシティホール化の推進

区役所庁舎では、屋上太陽光発電システム、在来つる性植物による壁面緑化や職員でづくりのビオトープ、ペットボトルキャップから作られたベンチの設置、光触媒看板の設置など、境に関するさまざまな取組みを、例として展示しています。

緑のカーテン事業の展開

区役所や橘出張所、道路公園センターで育てたゴーヤーを区役所食堂で提供しました。

エコシティホール化冊子の作成

エコシティホール化について、分かりやすくまとめた啓発用冊子を作成しました。

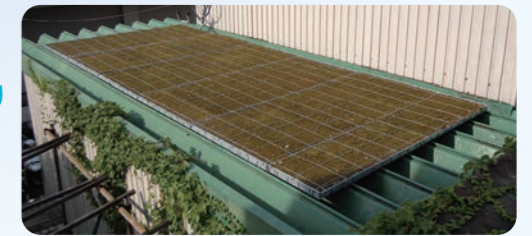
エコシティホールツアーの開催

ガイドがわかりやすく解説します。ご希望の方は、ぜひご参加ください。



産学官連携による共同研究

年間を通して、スナゴケを用いた屋上緑化による断熱効果の検証1年間を通じた効果の検証を行いました。



エコ企業調査プロジェクト

環境に配慮した取組みを積極的に行っている企業・事業所等を市民協働で調査及び情報共有し、ホームページ等で紹介します。企業の環境への取組みのインセンティブとし、企業とのネットワークづくりに向けたプロジェクトです。

平成24年度は、BDF(バイオディーゼル燃料)で巡るエコバスを利用して、株式会社光洲産業 光洲エコファクトリー川崎・久地を視察しました。当日は住宅地の中にある工場ならではの環境配慮の取組みについて見学させていただきました。

